

第13回国際マンガサミット 鳥取大会に向けて

鳥取県観光政策課まんが王国とっとり推進室

はじめに

2011年10月21日（金）から24日（月）の日程で第12回国際マンガサミット北京大会が「マンガで世界を輝かせ」をテーマに北京市石景山区において開催されました。

この「国際マンガサミット」は、もともと日本、韓国、中国、台湾、香港の漫画家の交流がきっかけとなり始まった国際会議です。1996年の第1回大会から東アジア（日本・韓国・中国・台湾・香港・マカオ・マレーシア・フィリピン）を中心にした多くの漫画家が一堂に集まり、「文化交流」「感動の共有」「著作権」をキーワードに、展示会や研究会が開催され、昨年で第12回目の開催となりました。

なお、北京大会には、次回開催地である鳥取県の平井伸治知事及び伊藤美都夫県議会議長も出席しました。

第12回国際マンガサミット北京大会

1. 開幕式、歓迎レセプション

10月21日の夕方に漫画家及び関係者約300名が出席する中、第12回国際マンガサミット北京大会及び2011年北京国際漫画アニメウィークの開幕式が盛大に行われました。開幕式では、各国・地域の代表者によるオープニングセレモニーのほか、中国舞踊、京劇等が披露され、私たちが歓迎していただきました。

2. 第12回国際マンガサミット作品展

今回のサミット作品展の会場となった北京アニメーション・ゲームシティは、郊外へ移転した製鉄工場を再利用した施設です。広大な敷地内には、今もなお運搬用の鉄道のレールが残されているな

ど、巨大な工場施設が立ち並ぶその風景は、訪れた私たちを圧倒するものでした。

10月22日午前には、各国・地域の代表者によるテープカットで作品展が開幕しました。今回の作品展には、12か国・地域の漫画家約400名の作品約1,000点が展示され、多くの来場者を魅了していました。また、各国の漫画家によるサイン会が開催され、サインを求める来場者の長蛇の列が出来ていました。

鳥取県では、会場内に観光PRブースを出展し「まんが王国とっとり」「第13回国際マンガサミット鳥取大会」の周知を行い、来場された多くの方々に対してコナンや鬼太郎のふるさと鳥取県を知っていただくことができました。

また、併設会場では、アニメ技術展示、マルチメディア展示、グッズ展示、アニメソングコンサート、コスプレイベント、



鳥取県PRブースでのトップセールス

同人誌販売等も行われ、若者を中心として多くの来場者で賑わっていました。本会場でこのような大型イベントが開催されるのは初めてということでしたが、日本と同様に中国でのマンガ・アニメの人気の高さを実感することができました。

3. サミットフォーラム

10月22日午後及び23日午前には、サミットフォーラムが開催されました。

「漫画革新と持続可能な開発」というテーマに関して日本代表でスピーチをされた倉田よしみ氏（漫画家）は、「漫画家デビューとは」と題し、漫画家を目

指す若者たちがプロの漫画家になっていくためのプロセス等について日本の現況を報告されました。

また、2つ目のテーマ「漫画と出版産業の状況及び各地漫画産業状況報告」では、日本の代表である里中満智子氏（漫画家）が電子書籍等の普及にあたっての著作権保護の重要性及び違法コピー作品に対する対策の強化について提言されました。

4. 閉幕式

10月23日夕方のサミット閉幕式では、各国・地域代表の挨拶のほか、漫画家の著作権の保護や多様性のある漫画文化の繁栄・発展の奨励などを盛り込んだ第12回国際マンガサミット宣言に署名がなされました。また、国際マンガサミットの大会旗が北京市から日本（平井伸治知事、里中満智子氏）に引き継がれ、今回お集まりの皆様と次回の鳥取大会で再会することを誓い、サミット北京大会は盛会のうちに閉幕しました。

5. 北京大会に関してのお礼

北京滞在中、地元の学生ボランティアの方々に通訳及び誘導で大変お世話になりました。学生ボランティアの多くが大学で日本語を専攻し「いつか日本に行ってみよう」という夢を持っていることを聞き、日本の漫画・アニメの素晴らしさを再認識しました。お世話になった皆様に対して改めてお礼を申し上げます。



国際マンガサミット引継ぎの様子

ことを聞き、日本の漫画・アニメの素晴らしさを再認識しました。お世話になった皆様に対して改めてお礼を申し上げます。

第13回国際マンガサミット鳥取大会

1. まんが王国とっとり

何故、日本の地方都市であり人口も日本国内最小県の鳥取県で次回のサミットが開催されることになったのでしょうか。それは、鳥取県が推進している「まんが王国とっとり」の取組みと大きく関係があります。

鳥取県からは「ゲゲゲの鬼太郎」の水木しげる氏、「遙かな町へ」の谷口ジロー氏、「名探偵コナン」の青山剛昌氏など世界的に著名な漫画家を輩

出しています。このことから鳥取県では、まんがを地域固有の観光資源と捉え、まんがをテーマとした観光地づくり、誘客促進に取り組んでいます。そのような中、まんがに関する取組みを大きく推進するための起爆剤として国際マンガサミットを誘致しました。

2. 第13回国際マンガサミット鳥取大会

国際マンガサミット鳥取大会は、2012年11月7日（水）から10日（土）の日程で米子コンベンションセンターを会場として開催します。

鳥取大会では、本県が環日本海諸国・地域との交流を積極的に推進しており、これらの地域が海でつながっていることに着目するとともに「食のみやこ鳥取県」に代表される自然の豊かな恵みを取り上げることとし、『食』と『海』をテーマに全世界にアピールしていきます。

シンポジウムや漫画作品展示に加え、会場内に漫画制作のアトリエを再現し、実際の制作現場の様子や漫画が出来上がるまでの作業工程をご覧いただくことも計画しています。また、漫画家によるサイン会やトークショーのほか、まんが教室等の体験型イベント、漫画関連のグッズ等の販売やキャラクターショーの実施など多彩なイベントを計画しています。

今後、世界各地からのお客様を万全の態勢でお迎えできるよう準備を進めて参りますので、サミット鳥取大会へ是非ご来場ください。

<第1回まんが王国とっとり国際漫画コンテスト>

サミットの開催に併せ、個性あふれるまんが作品を発掘、顕彰することを目的として、現在、第1回まんが王国とっとり国際マンガコンテストを公募しています。

なお、入賞者に対する授賞式は、サミット鳥取大会閉幕式で実施予定です。多くの作品の応募をお待ちしております。

■募集作品

1コマ漫画、4コマ漫画、ストーリー部門

■応募期間 2012年3月31日まで

募集要領等については、まんが王国とっとりホームページでご確認ください。

<http://yokoso.pref.tottori.jp/dd.aspx?menuid=3062>